



感じて動く ~ Feel & Move ~

目指す児童像：かしこさいっぱい やさしさいっぱい たくまさいっぱい

三城小学校 学校だより
R6.2.26 第18号
校長 田中康隆

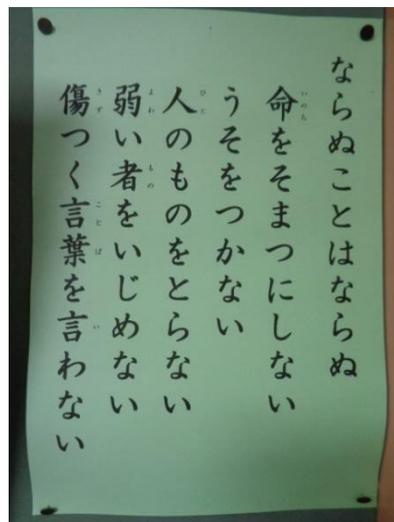
ならぬことはならぬ！

三城小学校には「ならぬことはならぬ」として右のような掲示があります。

褒めて伸ばすことは、もちろん大切ですが、ダメなことはダメだと強く指導がしにくい風潮の中、まじめに生きる人たちの生きづらさを感じます。

つい先日、本校児童の靴箱で極めて危険で悪質な行為が行われています（それを模倣する児童が出るのを防ぐため、ここでは詳細は省きます）。被害に遭っている児童、保護者の気持ちを考えると、申し訳ない気持ちでいっぱいです。こういう行為に及んだ児童の特定は、今の教育現場では難しい面はありますが、二度とこのようなことが起きないよう、学校としても最善を尽くしているところです。

今一度、「ならぬことはならぬ」を学校と共有し、ご家庭でも意識をして子供たちにお話しいただきますようお願いいたします。



一秒の言葉

「一秒の言葉」という小泉吉宏氏の詩（コピー）を紹介します。

これは、1985年を初回とし、2008年、2015年、2020年の6月10日「時の記念日」にリメイク SEIKO の企業広告で用いられたものです。

一秒の言葉

小泉 吉宏

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感ずることがある

「ありがとう」
この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある

「がんばって」
この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくる

「おめでとう」
この一秒ほどの言葉で、しあわせにあふれることがある。

「ごめんなさい」
この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある

「さようなら」
この一秒ほどの言葉が、一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く
一生懸命 一秒
一生懸命 コミュニケーション

言葉は生きる力を後押しもするし、生きる希望を失わせることもあります。

子供たちが、言葉に込められた意味を理解し、自分の発する言葉を他人の幸せのために使える人になって欲しいと願っています。また、残された今年度の担任や仲間たちとの時間を有意義に過ごし、よい学級だったと笑顔で終われるよう心から願っています。